

題材名 「絵手紙から広がる温かい心」

■目 標

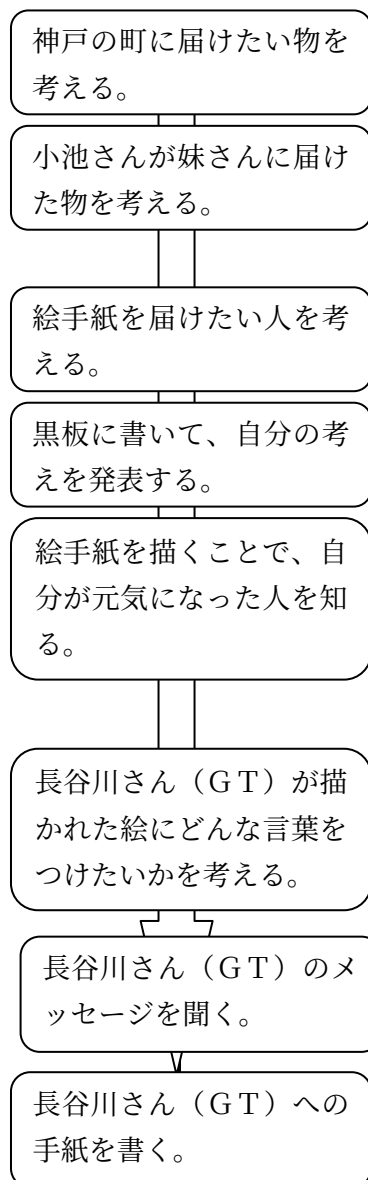
・「へたでいい」の精神で描かれる絵手紙は、多くの人たちに生きる勇気を与えていることを知り、絵手紙を贈る人の心の美しさにあこがれる心情を育てる。

■コンピュータを活用する利点

阪神大震災の様子を伝えたり、実際の絵手紙を拡大して提示したりするなど、学級の児童全員が共通の情報を得るために有効である。また、資料を少しずつ提示できるので、子ども達にとってはいつも目新しい情報を得られるために、興味・関心を持続することができる。最終場面では、ゲストティーチャー（GT）をビデオ映像で登場させた。スクリーンはテレビ画面よりも大きいために、見やすいという利点がある。また、動画編集が容易で、必要な部分だけを児童に提示することができる。

本授業では、カナダ製のスマートボードを使用した。スクリーンを指で押さえながら画面を変えることができるので、児童の顔を見ながら授業を進めることができる。

■授業の流れ



■ICT活用場面

導入の阪神大震災の様子から考える場面でスマートボードを使った。共通の課題を共通の情報から考える場面ではコンピュータによる画面提示は有効である。

絵手紙を届けたい人を考える場面では、画面に絵手紙を映し、児童が考えるための手だてとなるように配慮した。

ゲストティーチャーをビデオ映像で紹介した。テレビ画面と違って大きな映像で見せることができ、児童も興味関心を持ち見る事ができた。

授業全体を通してコンピュータを活用した。本校教職員からは、「視覚に訴える授業は、集中力を保つことができる。児童の状態を考えながら画面を示しており、情報機器を活用することにより授業のねらいを一層達成させることができる。」という評価を得た。

■成果と課題

視覚に訴える授業であるため、児童の興味関心が持続し、飽きさせることなく授業を続けることができた。一方で、提示したものが次々と消えるため授業の足跡がわかりにくいという指摘があった。これは、板書を工夫して、考えの足場を持たせることが必要であることがわかった。

■ICT活用環境等

使用周辺機器	スマートボード、プロジェクター、スピーカー
使用ソフト名	スマートノートブック 9.1
使用教室	2年A組教室（普通教室）

